

# 美術科学習指導案

廿日市市立阿品台中学校 生田泰文

- 1 学年・学級 第1学年1組(32名)
- 2 場所 第1美術室
- 3 題材名 生活の中の美術を考えよう
- 4 題材設定の理由

様々な調査において、美術が「好き」と回答する生徒の割合は非常に高く、9教科の中でも上位に位置する。一方、「将来、役に立つ」教科と回答する割合は、著しく低くなっており、美術科教育の大きな課題と捉えている。平成10年の学習指導要領の改訂においては、美術の教科性として3点示し美術科の役割を明確にしている。これからの美術科の授業では、指導のねらいを明確にするとともに、生徒の生活とのかかわりの深い題材を設定するような工夫が必要となってくる。

本題材では、日常生活で何げなく接しているデザインを鑑賞し、それらのよさや工夫点などに気付くことによって、生徒が自らの生活を心豊かなものにしていこうとする態度を育てることができる。日常生活における美術の役割について考えさせることは、生徒の美術に対する価値感を高めるとともに、生涯にわたって美術を愛好していこうとする心情を育てることになるものと期待している。

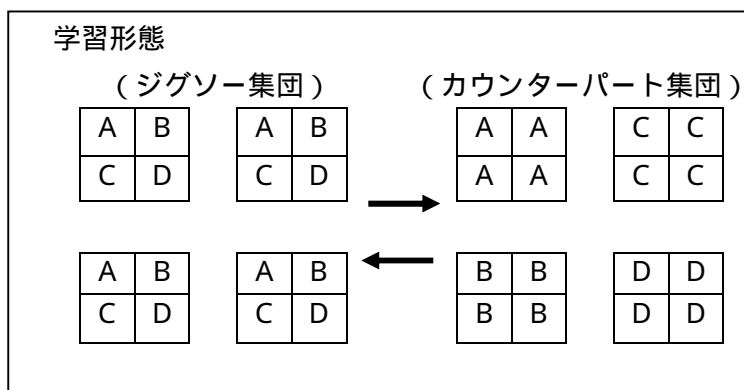
本学年の生徒は、1学期にデザイン分野の「色彩の性質や感情」を学習し、色彩の感情や三属性、組み合わせによる効果についての基礎的な知識はある。しかし、それらが自分たちの日常生活でどのように活用されているか考えることはないように思われる。美術で学習したことが、身の回りの様々な場面で様々なものに対して活かされていることを知ることは、今後の学習や日常生活に有効であろう。

1学期の鑑賞では、独立した鑑賞は行っていないが、表現活動の導入において参考作品を鑑賞したり、終末で生徒同士の相互鑑賞を行ったりした際に、生徒は表現活動と同様に概ね意欲的に活動し、作品に対する自分自分の思いを持つことができた。

鑑賞においては、対象を見ることによって、そこから何かを感じ取ることがまず基本であると考えられる。そのため、生活の中のデザインについて、ビデオ等を活用するなど効果的な提示方法を工夫し、対象との出会いを大切にしたい。

そこで、日頃、見慣れた文字や日用品等のデザインは、我々の心豊かな生活に不可欠であり、常に美しさや機能性を高めてきたことに気付かせ、生活における美術の果たす役割について考えさせたい。

また、見る視点を明確にし、より深い鑑賞をさせるための工夫として、ジグソー学習の形態を取り入れて話し合いの充実を図りたい。話し合いの全体テーマを「生活の中の美術の役割」とし、さらに、具体的な6つの課題を設定することでより深い感じ方に期待したい。



(カウンターパート集団での課題)

- A マークや標識などのデザインから    B 文字などのデザインから  
 C 日用品などのデザインから    D 衣服や旗などのデザインから  
 E 地域に見られる様々なデザインから

5 題材の目標

日常生活で何げなく接しているデザインに関心をもって鑑賞し，そのよさや美しさなどを  
 感じ取り，生活におけるデザインの役割を理解する。

中学学習指導要領 美術 第1学年 B鑑賞 イ

6 育てたい資質・能力

よさや美しさなどを感じ取る力  
 美術を愛好していこうとする心情

【評価規準】

ア 美術への関心・意欲・態度

- 1 生活の中のデザインについて意欲的に鑑賞しようとしている。
- 2 身の回りのデザインの工夫について関心をもって見る。
- 3 生活の中のデザインのよさや美しさなどに関心をもち 美術を愛好していこうとする。

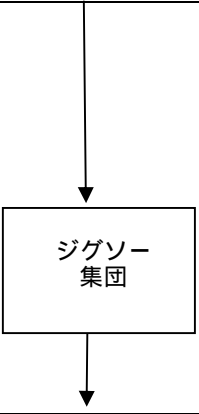
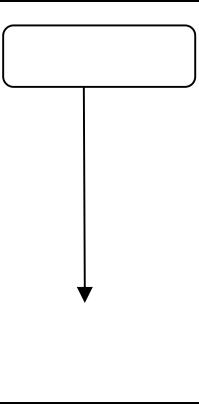
イ 鑑賞の能力

- 1 生活を豊かにするため美術が様々な分野に用いられていることに気付く。
- 2 表現の意図や工夫，よさや美しさなどを感じ取る。

7 題材の指導計画 (全3時間)

については記録として残す。

次	形態	学習内容	評価		
			関	鑑	評価規準(評価方法)
1	(本時) 一斉 ジグソー 集団 ↓ カウンター パート集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果やビデオ等の視聴を通して，課題意識を持つ。</li> <li>・全体テーマ(「生活の中の美術の役割」)解決のアプローチの方法として学習課題を決定する。              ( A マーク・標識から    B 文字から              C 日用品から    D 衣服や旗から              E 地域から )</li> <li>・グループ内でカウンターパートを分担する。</li> <li>・選択課題について，資料を参考にしながらグループ内で話し合う。</li> </ul>			イ - 1 (発言内容，行動観察)  ア - 1 (ワークシート，行動観察)  ア - 2 (ワークシート)

2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択課題についてワークシートに記入する。 (個別, 宿題)</li> <li>・選択課題について話し合い, 各グループでまとめる。</li> <li>・各グループでの学習成果を発表し, 教え合う。</li> <li>・報告内容についての質疑応答を行い各グループとして全体テーマの解決を行う。</li> </ul>			ア - 1 (ワークシート)
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体テーマについて, 各グループごとに発表する。</li> <li>・各グループからの発表を受け, 全体テーマをまとめる。</li> <li>・各自ワークシートに学習のまとめを記入する。</li> </ul>			ア - 3 イ - 2 (ワークシート)

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

日常生活で何げなく接しているデザインに気付き, 目的意識を持って意欲的に鑑賞しようとする。

日常生活を振り返り, 私達の生活を豊かにするため美術が様々な分野に用いられていることに気付く。

### (2) 準備物

生活の中のデザインを収録したビデオ      デザインの効果を活かした日用品等  
 参考資料・写真      ワークシート      アンケート集計結果

### (3) 学習の展開

	学 習 活 動	指導上の留意事項 ( ) ( 「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて )	評価規準 ( 評価方法 ) ( 十分満足 )
導 入	1 アンケートの集計結果を知り, 課題意識を持つ。 2 ビデオを視聴したり, 日用品を見たりして生活の中のデザインに気付く。	生徒が主題に対する課題意識を持つよう, 提示方法を工夫する。 生徒が日常生活を振り返りやすいよう, 身近な生活で接しているものを鑑賞の対象として用意する。 さらに, 他の事例を口頭で紹介する。	[ 鑑 ] 生活を豊かにするため美術が様々な用いられていることに気付く。( 発言内容, 行動観察 ) 他の事例も考える。 よさや美しさを考える。

展 開	3 全体テーマを「生活の中の美術の役割」とし、その解決のアプローチの方法として学習課題を決定し、グループ内でカウンターパートを分担する。	課題を焦点化し、より深く鑑賞させるため、身近な生活の中から課題を挙げる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(カウンターパート集団での課題)</p> <p>A マークや標識などのデザインから      B 文字などのデザインから</p> <p>C 日用品などのデザインから      D 衣服や旗などのデザインから</p> <p>E 地域に見られる様々なデザインから</p> </div>		
	4 カウンターパート集団を編成する。選択課題について、内容や調べ方などをグループ内で話し合う。	各課題ごとに課題解決のヒントとなる資料や写真等を用意しておく。 話し合う視点を明確にするようワークシートを工夫する。  机間指導を行い、円滑な話し合いを支援する。 資料や写真等のポイントを助言する。	[関] 生活の中のデザインについて意欲的に鑑賞しようとしている。(ワークシート, 行動観察) 自分の生活の中から発想している。 深く追求しようとしている。
終 末	5 本時学習について振り返る。  6 宿題の内容を把握するとともに次時の学習内容を知る。	話し合いの内容やワークシートの記述から他の参考となるものを全体に紹介する。	[関] 身の回りのデザインの工夫について関心をもって見る。(ワークシート) 意識して見つめ直している。 自ら探求しようとしている。

#### 学習課題の分類

- A マークや標識などのデザインから  
コミュニケーション, プレゼンテーションとしての表現
- B 文字などのデザインから  
美術作品のよさや美しさや意図と工夫などの感受
- C 日用品などのデザインから  
美しいものに感動する心, 他者に対する思いやりや心遣いを形に表す豊かな心の育成
- D 衣服や旗などのデザインから  
地域・民族・国などの伝統文化や文化遺産を通じた文化や人間の相互理解, 国際理解
- E 地域に見られる様々なデザインから  
美的生活の創造「生活を美しく心豊かに創造するデザイン・ものづくりの能力」